



ER/Studio® Enterprise は、プロセスモデリングからデータモデリング、アプリケーションモデリングまでをカバーする強力なモデリング/エンタープライズアーキテクトソリューションです。ER/Studio Enterprise は、データベース構造を掌握して確実なデータ設計を可能にするとともに、組織全体にわたってソフトウェアアーキテクチャを共有し、ビジネスとITの方向性を合致するべく支援します。

- エンタープライズクラス的数据モデリング/設計
- プロセスとデータを結びつけるビジネスモデリング
- オブジェクト指向ソフトウェアモデリング
- サーバベースのリポジトリによるコラボレーションモデリング
- リアルタイムモデルビジネスインテリジェンス

エンタープライズクラス的数据モデリング/設計

ER/Studio Enterprise に搭載された実績あるデータモデリング

機能を用いれば、既存のデータ産の理解、可視化、再利用が可能です。ラウンドトリップデータベースサポートにより、データアーキテクトは、既存のデータベースを容易にリバースエンジニアリングし、分析、最適化できます。ER/Studio Enterprise は、強力なレポート/コミュニケーション機能を提供しており、企業標準をプロジェクト横断的に適用させたり、モデルやメタデータの再利用を促進するなど、生産性向上を実現できます。

プロセスとデータを結びつけるビジネスモデリング

ER/Studio Enterprise は、プロセスモデリングおよび概念モデリング機能を搭載しており、ビジネスプロセスやそれらがどのようにデータにアクセスしているかを容易にドキュメント化できます。BPMN 標準に準拠した強力かつシンプルな描画機能を用いて、プロセス、人、データの関係性を容易にモデル化できます。

オブジェクト指向ソフトウェアモデリング

強力なオブジェクト指向モデリング機能により、複雑なソフトウェアアプリケーションをビジュアルに分析、設計。UML 2.0 仕様に対応し、要件やシステム構造のビジュアル化、デザインパターン、システムの検査・測定などをサポートし、開発者やアーキテクトの設計作業を効率化します。

リアルタイムモデルビジネスインテリジェンス

ER/Studio Enterprise には、堅牢な Web ベースのクエリー/レポートツールが搭載されており、ER/Studio Repository にアクセス/検索することで、メタデータ、オブジェクトの所在、データの使用状況の理解を促進することができます。任意のブラウザからアクセスでき、モデル横断的にリポジトリ全体に対して、データ定義やオブジェクトの検索を行うことができます。

サーバベースのリポジトリによるコラボレーションモデリング

ER/Studio Enterprise には、日々のデータモデリングやビジネスモデリング作業における、チームコラボレーション、モデルへのアクセス、データの一貫性といった問題を解決するサーバサイドモデル管理システムが用意されています。複数のユーザーによるデータモデルやビジネスプロセスモデルへの同時アクセスが可能。これにより、プロジェクト横断的にモデルやメタデータといった資産の再利用を促進し、企業全体の生産性とシステムの整合性を高め、企業標準の遵守、品質向上の実現を可能にします。



主な機能

- モデルドリブン設計環境
- マルチレベル設計アーキテクチャ
- ビジュアルデータリネージ
- ラウンドトリップデータベースサポート
- ソフトウェア/プロセス/物理/論理モデリング
- カスタマイズ可能な HTML、PDF、RTF 出力/レポート
- 図レイアウトエンジンとナビゲーション
- データディクショナリの標準化
- 利用箇所の分析
- コラボレーションモデリング環境
- マルチプラットフォーム DBMS サポート

ER/Studio 8.5 の新機能

- プロセスモデル、概念モデル、物理モデル、論理モデルの設計、理解が可能な、セキュリティ対応のコラボレーションモデリング環境
- UML 2.0 サポート、OCL、パターン、検査・測定 QA 機能、インポート/エクスポート、ドキュメント生成機能を搭載したソフトウェアモデリング環境
- ビジュアルデータリネージにより、コードを見ることなく、組織全体にわたってのデータフローを可視化し、レポート
- Oracle、SQL Server、DB2 LUW、InterBase、Teradata といった主要なデータベースの最新バージョンに対応した DBMS 機能
- Web 2.0 テクノロジーにより、ER/Studio Data Architect と Portal 間で、双方向コミュニケーションやタグ付けが可能になった、新しいワークフローコミュニケーション機能
- 強力かつ洗練されたレポートオプションによりモデルやメタデータを HTML、RTF、GIF、PNG、JPEG 形式で出力して共有可能

機能	説明
ER/Studio Enterprise	
ER/Studio Data Architect	
ユーザー定義マッピングによる使用箇所の分析	物理設計にわたっての論理エンティティおよび属性とその実装間でのマッピングの表示。データアーキテクトは、論理および物理モデルからの生成物のマッピングをカスタマイズ可能
ビジュアルデータリネージ	システム全体にわたるデータ移行用のソース/ターゲットのマッピングおよびソーシングルールのドキュメント化
ラウンドトリップデータベースサポート	既存のデータベースやスキーマからグラフィカルモデルを作成、モデルからスキーマを生成可能
高度な比較/マージ	論理から物理へ、物理から論理へ、物理からデータベースへといったモデルとデータベース構造の高度な双方向比較とマージ
ER/Studio Business Architect	
概念モデルの作成	サブジェクトエリア、ビジネスエンティティ、インタラクション、リレーションシップなどの要素を使用したハイレベルな概念モデリングをサポート
プロセスモデルの作成	シーケンス、タスク、スイムレーン、開始イベント、ゲートウェイなどの標準的な要素を使用する直感的なプロセスモデリングのサポート
BPMN コンプライアンス	プロセス図の自動検証により、BPMN の仕様への準拠を保証。仕様に準拠しないモデル要素の追加を抑制
CRUD レポート	CRUD レポートにより、どのプロセスがどのデータに、どういう影響を与えているかを特定可能。レポートは、表形式で容易に認識可能
ER/Studio Software Architect	
モデルドリブンアーキテクチャ・標準	UML® 2.0(Unified Modeling Language™)、XMI®(XML Metadata Interchange)、OCL(and Object Constraint Language)をサポート
モデルパターン	業界標準パターンのサポートにより設計作業を飛躍的にスピードアップ
ドキュメント生成	プロジェクトの外部ドキュメントの作成。ドキュメント化は、パターン定義、検査結果など異なるプロジェクトで利用可能。RTF、HTML、TXT、PDF、XSL-FO などに出力可能
モデルの検査・測定	OCL ベースの監査・測定によるモデルの検査。設定の定義・保存・再利用も可能
ER/Studio Portal	
構造化表示とナビゲーション	リポジトリの図に対する Web ベースのナビゲーションを提供。ユーザーは、スクロール可能なプロジェクトリストとそれぞれのリポジトリプロジェクトフォルダー内の図を表示可能
テクニカルレポート	データタイプ、カラム幅、カラム名、オブジェクトの関係、モデル間のデータリネージ、セキュリティ分類情報など実装に関する詳細情報のためのプリンストールレポート
データの自動同期	図のオブジェクトが ER/Studio Repository 上に追加、削除、更新されると、図の最新版がレポートポータルに送付。同期は、管理者の判断によりスケジュール設定可能
高度な検索	特定のオブジェクトタイプや特定のプロジェクトに限定し、特定のソート順で、ワイルドカード検索が可能
ER/Studio Repository	
モデルやオブジェクトへの同時アクセス	モデルオブジェクトレベルまでデータモデルでの作業をモデラー間でリアルタイムコラボレーション可能
変更のレビューとユーザー矛盾の解決	Repository に接続している他のユーザーと同時に発生する特定のユーザーモデルとその変更の差異を検出し、シンプルかつインテリジェントなインターフェイスによりその矛盾を解決
バージョン管理	モデルの個別の履歴を管理。モデルオブジェクトの段階的な比較、ロールバックをサポート
コンポーネントの共有と再利用	あらかじめ定義されたエンタープライズデータディクショナリにより、データの冗長性を排除し、データ要素の標準を強制